

第1回 那須塩原駅周辺まちづくり協議体 会議要旨

○日時 令和6年3月15日（金）14:00～16:10

○場所 東那須野公民館多目的室

○出席者 メンバー : 21名
オブザーバー : 10名
※詳細は配付資料1を参照。

○次第

- 1.開会
- 2.あいさつ
- 3.内容
 - (1) これまでの検討経過について【資料2】
 - (2) まちづくりのプランについて（資料は投影のみ）
 - (3) グループワークについて【資料3】
 - (4) 協議体の今後の展開とスケジュールについて【資料4】
- 4.その他

○配付資料 次第

- 【資料1】 那須塩原駅周辺まちづくり協議体 名簿
- 【資料2】 これまでの検討経過について
- 【資料3】 グループワークについて
- 【資料4】 協議体の今後の展開とスケジュールについて
- 【参考資料】 那須塩原駅周辺まちづくり協議体概要

○会議要旨

1.開会

2.あいさつ

- 渡辺美知太郎市長より那須塩原駅周辺まちづくりのこれまでの経過や本協議体の趣旨等に関しあいさつがあった。
- その後、内容の進行のため、事務局より座長として吉成氏を指名した。

3.内容（進行：吉成座長）

(1) これまでの検討経過について【資料2】

(2) まちづくりプランについて

(1)及び(2)に関し、資料に基づき事務局より説明を行った後、意見交換を実施した。

<質疑応答・意見交換におけるメンバーの主な意見>

- 公共空間を活用して人々が歩いたり楽しんだりできるような駅前を作るのに、民間のできることを少しでもやらせてもらいたい。その場合、民間としてどんな形で駅周辺を活性化させる具体的な提案ができるのか、市有地の活用策に関してどのように

マネタイズをしていくのか、市として実現可能性に対する検討・準備が必要となるのではないかな。

- 駅前が駐車場ばかりである点と、土地の有効活用を見据えた際の土地の売却に理解を示す地権者がどの程度いるのかが懸念。民地の有効活用を図りながら、市民がこの場所に来れるような地域にしていきたい。
- 定住自立圏の隣接市町に行くのに、交通アクセスをどのようにするかということも全体的な構想の中で練っていただきたい。
- 新庁舎と一体的な検討という部分では、新庁舎に向かう道沿いに 365 日何か商売ができるようなスペースを検討してほしい。
- パークレンジャーがいて自然を楽しく教えてくれるビジターセンターみたいなものが一つのランドマークとして駅前にあれば、自然と都市とが共存している環境都市というイメージを想起させることにつながるのではないかな。

(3) グループワークについて【資料 3】

資料 3 に基づき事務局より説明を行った後、駅周辺を魅力的にするための意見・アイデアをグループワークにて議論した。事務局が設定した以下の 4 つのテーマを元に、自由闊達な意見交換、アイデア出しが行われた。

以下、グループワーク・発表で出た主な意見を抜粋し掲載している。

※人数については、ファシリテーターの人数を含まない。

①生活・なりわいグループ（4名）

テーマ：エリアの関係者としてあったらいいなという機能や場所を聞かせてください。

【主な意見やアイデア】

- 集客できる、目玉になるコンテンツ（ライブハウス・コンベンションホール等）
- 車なしで生活できるまちづくり（電動キックボード等）
- 子どもの居場所づくり（屋内の遊べる施設等） 等

②交通・まちのかおづくりグループ（6名）

テーマ：交通の接点として、まちの入口としてふさわしい空間を聞かせてください。

【主な意見やアイデア】

- 訪れてもらえる、また訪れたいくなるような仕組みづくり
- そのまちを表すショーケースとなる場所
- 滞在できる拠点
- 首都機能移転
- 公共空間等の有効的な活用
- デジタルインフラ整備の充実
- 次世代交通の導入（自動運転バス、地区限定ライドシェア）
- 車から徒歩・自転車を中心としたライフスタイル（ランニングロード、自転車預託施設）

- 景観を意識した無電柱化 等

③歴史文化観光グループ（4名）

テーマ：那須エリア観光の入口として駅前開発に期待することを聞かせてください。

【主な意見やアイデア】

- 駅周辺を歩けるまちづくり
- 新幹線1時間に1本をメリットとして捉え、滞在できる拠点づくり
- 那須のイメージを駅前で感じられる駅前開発
- アウトレットエリアとの連動性が重要 等

④ライフスタイル・ブランディンググループ（7名）

テーマ：.那須塩原独自の生活スタイルを創ることに必要な要素とは？

【主な意見やアイデア】

- もともとある那須塩原の良さを生かしていく視点とこれから新しいものを創造していく視点
- 元からある強み（食、観光、温泉、図書館等）
- 環境都市としての価値付け（エコ都市、ゼロ・ウェイストのブランド化、自然と都市の循環ブランディング 等）
- 自然との共生（山・川・森・里・国立公園等）
- 移住者視点（外からの視点、ママ向けシェアオフィス、移住者人材の活用等）
- 起点（都心へのアクセス、首都圏との近さ、ICが街中にある）
- 交流（井戸端会議ができる、市民×外の交流、応援する・される、個人商店）
- カルチャー（アート・創作できる場、ファッション、祭り・行事・イベント等）
- 教育環境の向上（特色のある学校を創る、質の高い教育プログラム）
- 既存イメージの深化（避暑地、ロイヤルロード、那須高原、牧場）
- 多様性（色々な人がいる、歴史が浅い分受容性）
- テクノロジー・ソリューション（スタートアップ支援） 等

(4) 協議体の今後の展開とスケジュールについて【資料4】

資料4に基づき事務局より説明を実施した。

※時間の都合により詳細説明及び質疑の時間は割愛。

4.その他

事務局より、第2回目以降の会議の実施日時等に関し、協議体参画者に対して実施日時等の意向を把握するためのWEBアンケートを後日実施したいとの説明があった。

文責：那須塩原駅周辺整備室